

希学園 第410回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第410回公開テスト 小3算数 解説動画(2026年7月12日実施)	https://vimeo.com/1208981487/96d43625b7

1	(1)	700	(2)	299	(3)	222	(4)	284
	(5)	156	(6)	154	(7)	34 (分)	(8)	62 (mL)
	(9)	3 (倍)	(10)	116	(11)	6	(12) (5 月)	6 (日)

2	(1)	25 こ	(2)	1350 円
---	-----	------	-----	--------

3	(1)	8 cm	(2)	4 cm
---	-----	------	-----	------

4	(1)	4 (まい)	(2)	6 (まい)
---	-----	--------	-----	--------

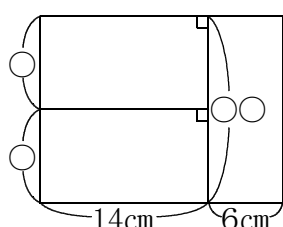
5	(1)	4 通り	(2)	5 通り
---	-----	------	-----	------

6	(1)	6	(2)	9
---	-----	---	-----	---

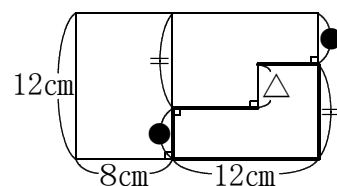
- 1 (5) $\square - 54 = 102$
 $\square = 102 + 54 = \underline{156}$
- (6) $80 + \square = 234$
 $\square = 234 - 80 = \underline{154}$
- (7) 1時間 = 60分より,
 2時間 = $60 \times 2 = 120$ 分
 よって, $154 - 120 = \underline{34}$ (分)
- (8) $1\text{ L} = 1000\text{ mL}$
 $1000\text{ mL} - 938\text{ mL} = \underline{62}\text{ mL}$
- (9) $5 \times \square = 40 - 25 = 15$
 $5 \times 3 = 15$ より, $\square = \underline{3}$ (倍)
- (10) 3けたの数で, 小さい方から1番目の数は100。
 小さい方から17番目の数は, それより,
 $17 - 1 = 16$ だけ大きい数。
 $100 + 16 = \underline{116}$
- (11) $\text{ア} + \text{ア} + \text{ア} + \text{ア} + \text{イ} = \text{イ} + \text{イ} + \text{ア} = 42$
 _____が同じなので, _____も同じ。
 よって, イはア3つぶんの大きさ。
 ア + ア + ア + ア + イは,
 アが, $4 + 3 = 7$ (つ)ぶんの大きさなので,
 $42 = 6 \times 7$ より, アは6。
- (12) 5月18日は, $18 + 30 = 48$ より,
 4月から数えると4月48日となる。
 $48 - 24 = 24$ (日後)
 $24 = 12 + 12$ より, 5月18日の12日前。
 $18 - 12 = \underline{6}$ (日)

- 2 (1) $1000 = 200 \times 5$ より,
 おかしは最大で, $5 \times 5 = \underline{25}$ (こ)
- (2) $33 = 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 3$ より,
 $200 \times 6 = 1200$ (円)
 $50 \times 3 = 150$ (円)
 $1200 + 150 = \underline{1350}$ (円)

- 3 (1) 右の図から,
 $\bigcirc + 14 = \bigcirc\bigcirc + 6$
 よって $\bigcirc$ は,
 $14 - 6 = \underline{8}$ (cm)



- (2) 右の図で, 太線部分は
 $12 + 12 + 12$
 $= 36$ (cm)
 左の長方形は, まわりの長さが,
 $12 + 8 + 12 + 8 = 40$ (cm)
 よって $\triangle$ は, $40 - 36 = \underline{4}$ (cm)



- 4 (1) $100 \times 1 = 10 \times 10$ より, 100円玉1まいを10円玉10まいに両がえすると,
 $10 - 1 = 9$ (まい)ふえる。
 $36 = 9 \times 4$ より, 4まい。
- (2) $500 \times 1 = 50 \times 10$ より, 500円玉1まいを50円玉10まいに両がえすると,
 $10 - 1 = 9$ (まい)ふえる。
 また, $100 \times 1 = 50 \times 2$ より, 100円玉1まいを50円玉2まいに両がえすると,
 $2 - 1 = 1$ (まい)ふえる。
 $24 = 9 + 9 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1$ なので,
 500円玉2まいと, 100円玉6まい。
- 5 (1) $\boxed{3}\boxed{3}\boxed{3}$ で1組なので, $\boxed{4}$ に2まいたしてもう1組にする。よって, $\boxed{2}\boxed{3}\boxed{4}$, $\boxed{3}\boxed{4}\boxed{5}$, $\boxed{4}\boxed{5}\boxed{6}$ の続き番号にする場合と, $\boxed{4}\boxed{4}\boxed{4}$ のかたまりにする場合の, 合わせて4通りある。
- (2) $\boxed{4}\boxed{5}\boxed{6}$ を1組とすると, $\boxed{6}$ に2まいたしてもう1組となるので, (1)と同じように4通りになる。ただ, これに加えて, 1まい目を $\boxed{3}$ として $\boxed{3}\boxed{4}\boxed{5}$ という1組を作ってから, もう1組を $\boxed{6}\boxed{6}\boxed{6}$ にすることもできるので, 全部で4 + 1 = 5(通り)ある。

- 6 (1) $26 - 7 - 5 - 4 = 10$
 $10 - 2 = 8$ なので, それぞれの列の数のちがいは8。 $9 - 8 = 1$
 で, 右の図。 $26 - 1 - 2 = 23 = 11 + 12$ より, A, Bは11と12。よってCとアとして, のこる2つの数は3と6。2列目のちがいも8なので, Aが11, Cが3とわかる。よって, アは6となる。

7	5	4	10
1	A	B	2
9	C	ア	8

- (2) $26 - 12 - 5 = 9$
 のこる数から, 2と7がわかる。
 この2と7をぎやくにすると, 1列目のちがいが $3 - 1 = 2$, 2列目のちがいが2より大きくなりおかしい。 $7 - 1 = 6$ より, 各列の数のちがいは6で, Dは, $2 + 6 = 8$ 。 $26 - 1 - 4 = 21$ で, F, Gは10と11。よってEは, $12 - 6 = 6$ 。イは, $26 - 3 - 8 - 6 = \underline{9}$ となる。

7	2	12	5
3	D	E	イ
1	4	F	G

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10